

週刊

# こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎(752)0453 植田 進 ☎(487)9754  
いはら 忠 ☎(488)7207

発行  
日本共産党  
八千代市議会議員団  
八千代市大和田新田  
312-5  
☎(483)1151

## 国保料1万6千円もの大幅引き上げ

秋葉市長の新年のあいさつで「住み続けたいと思える八千代市の実現」と述べていますが、市民には「住みにくいまちづくり」が進行しています。

秋葉市長は、国保運営協議会に国民健康保険料の引き上げを諮問、委員から「上げ幅が大きすぎる」「赤字の根拠があいまい」「全額加入者負担はどうなのか」「このままでは承認できない」という声が続出しましたが、議長裁量のような形で挙手採決もなく答申が出されました。

この結果、65歳以上の高齢者には、平均1万6千円（1世帯当たり）の値上がりで、市民の負担が増加します。消費税8%で国民の生活が苦しくなっているところにますます拍車がかかります。

## 葬儀も長生きもできない

さらに、国民健康保険の「葬祭費」が現行の5万から3万円に減額されます。急場の葬祭費用の持ち出し負担が重くなります。また健康で長生きをするために欠かせない人間ドックの助成額が60歳以上の利用者には15000円から5000円に減額されます。これでは様々な病気の早期発見をする体制が弱体化します。年寄りも長生きするなというようなものです。

## ふれあいプラザ利用の送迎バス（団体）も廃止か

ふれあいプラザに行くならやはり団体で楽しみたいと思うもの。ところが去年の3月に国土交通省から通達があり、その基準に沿えば今年度予算より1500万ほど高くなるので、団体バスを廃止する方向で検討しているという。利用者からみれば突然の廃止宣言としか言いようがありません。

## 配食サービスへの補助もカット

食事を自分で作ることのできない高齢者などに、見回りと栄養の摂取の目的で行ってきた配食サービスの一食300円の補助をカットしたり、介護用品の支給、重度認知症の支援の削減をするなど4,320万円も削減しようとしています。



一方で秋葉市長は、前市長が推進したハコモノ建設を踏襲、湯水のごとく税金が使われているのは納得できません。その上、ハコモノの維持のために毎年6億円の支出が見込まれます。自らの責任を問うことなく、そのしわ寄せを市民に押し付けることは許せません。

日本共産党は、予算の組み替えで暮らし・福祉最優先の市政づくりに全力で取り組みます。